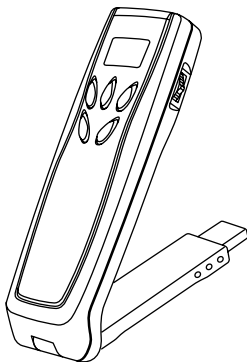
Digital Multi-Player
MEDiA USB STiCK

SMS-10

SOTEC

取扱説明書

保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は“いつでも見られる所”に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は“保証書付”になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品　番	SMS-10
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げの販売店名	電話(　　)　－

もくじ

はじめに

基本操作

応用操作

その他

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について

■ 分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、乾電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。温度が5℃以下、または35℃以上の場所では使用しないでください。

■ 置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

乾電池について

⚠ 注意

■ 乾電池は正しく入れる

注意

乾電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■ 乾電池は充電しない

禁止

乾電池は充電しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

■ ショートさせない

禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。乾電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない

禁止

長時間(1週間程度)使用しないときは乾電池を取り出しておいてください。乾電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

■ 録音内容を消去するときは、バッテリの確認をする

注意

録音内容を消去するときは、バッテリが十分に残っているかバッテリ表示を確認してください。消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

■クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

注意

スピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープは本体のそばに置かないでください。磁気が壊れて使用できなくなることがあります。

録音中に電池残量表示が点灯したら

すぐに録音をやめて、新しい単4形アルカリ乾電池に交換してください。

乾電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

登録商標についての注意

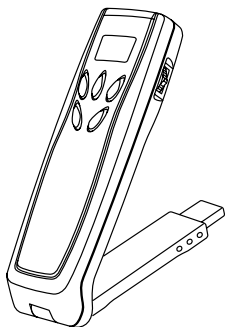
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media™およびWindows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。

- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。

付属品の確認

箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

- デジタルマルチプレーヤ本体 1

- ヘッドホン 1

- 単4形アルカリ乾電池 2

- 取扱説明書（保証書付）.............. 1

主な特長

64MBメモリ内蔵で高音質録音可能！

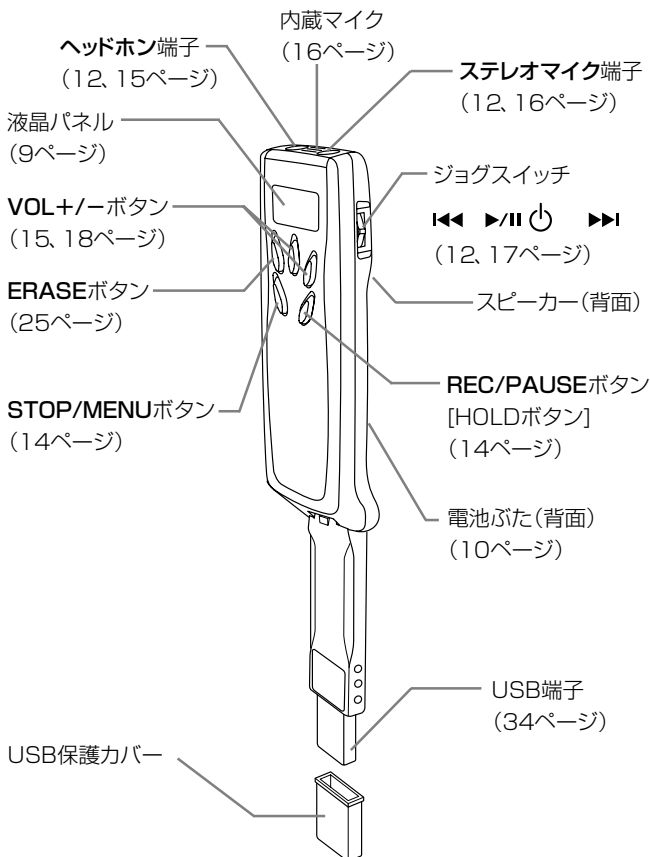
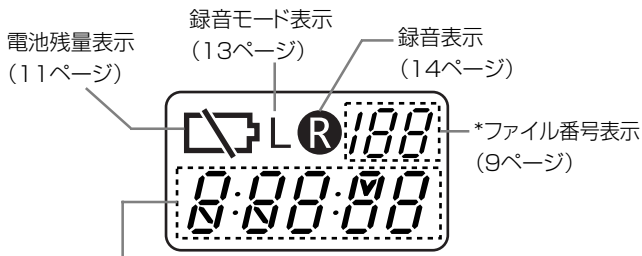
- MP3音声データで、約5時間の高音質録音が可能です。
- ステレオ外部マイクでステレオ録音ができます。

パソコンと接続可能！

- USBドライバ不要で、簡単にパソコンに接続できます。
  （Windows98/98SE専用USBドライバのインストールが必要となります。　→28ページ「USBドライバのインストール」参照）
- フロッピーディスクなどの代わりとしてパソコンデータの一時保存にも使えます。
- 本機で作成した音声ファイルはパソコンで再生できます。
  （MP3が再生可能なWindows Media Player等のソフトウェアをインストールする必要があります。）

各部のなまえ

くわしくは、(　)内のページをご覧ください。

本体

液晶パネル

- 時間表示
  再生時：再生経過時間
  録音時：録音可能時間
  停止時：選択されているファイルの再生時間
- メッセージ表示
- モード表示

* ファイル番号表示
録音ファイル数が200を越えたとき、ファイル番号は下記のとおり表示されます。

ファイル番号：200〜299

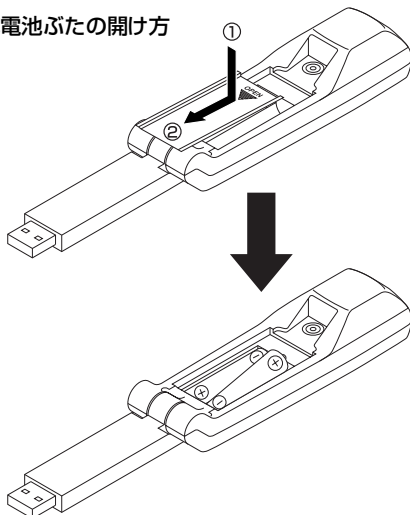
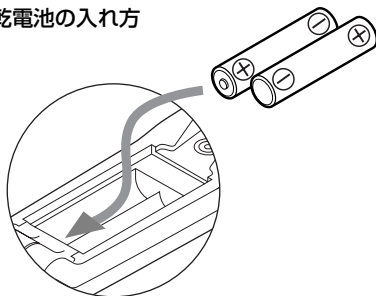
“1”が常に点滅します。
上記はファイル番号“208”を表します。

ファイル番号：300以上

“00”が表示され、常に点滅します。

お使いになるまえに

乾電池の入れ方

●乾電池ぶたの開け方

●乾電池の入れ方

電池残量表示

電池残量は、液晶パネルの電池残量表示で確認してください。

消灯　　点滅　　点灯

（満タン）　→　（少量）

電 池 残 量

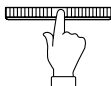
“LO”表示後　液晶パネル表示消灯 ———— 電池切れ

電池残量表示が点灯したときは、新しい単4形アルカリ乾電池と交換してください。

ご注意

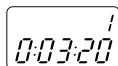
- 乾電池は、温度が5℃～35℃の環境でご使用ください。特に、夏の車内には放置しないでください。
- 使いきった乾電池は法律に従って処分してください。
- 録音中、録音一時停止中、再生中、消去中、フォーマット中に乾電池を抜くと、録音内容が壊れる可能性があります。
- 録音中、録音一時停止中に乾電池を抜くと、録音内容は保存されません。
- 付属の乾電池はモニタ用ですので、寿命が短いことがあります。

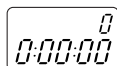
電源を入/切にする

ジョグスイッチ(電源)を長押しします。

“SOTEC”と表示され、電源が入り、下記の表示に移ります。

[液晶パネル表示]

再生対象ファイルがある時

“SOTEC”と表示された後、ファイル番号1の再生時間が表示されます。

再生対象ファイルがない時

“SOTEC”と表示された後、“no”“dATA”と2回点灯し、ファイル番号“0”、再生時間“0:00:00”と表示されます。

再度**ジョグスイッチ(電源)**を長押しすると、“SOTEC”と表示され、電源が切れます。

オートパワーオフ機能

- 電源が入った状態で、約5分間放置しておくと、自動的に電源が切れます。
- 録音一時停止中に、約5分間放置しておくと、録音していたファイルを作成した後、電源が切れます。

ヘッドホンを使用する

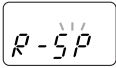
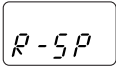
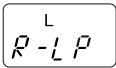
ヘッドホン端子に差し込んでください。 ヘッドホンを差し込むと、スピーカーから音は出ません。

ステレオ外部マイク(市販品)を使用する

ステレオマイク端子に差し込んでください。ステレオ外部マイクを差し込むと、内蔵マイクははたらきません。

録音する

1 録音モードを選択する

録音モードにはスタンダードモードとロングモードの2種類があります。初期設定では、スタンダードモードになっています。 ただし、録音時間は録音状態によって録音可能時間表示とは異なる場合があります。

スタンダードモード

高音質で約3時間の録音が可能です。(内蔵マイク)

ロングモード

スタンダードモードより音質は劣りますが、約5時間の録音が可能です。(内蔵マイク)

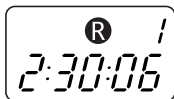
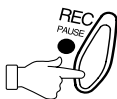
[録音モードの選択方法]

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1	**停止状態で、STOP/MENUボタンを長押しする** ● モード表示部分が点滅します。	R-SP
2	**ジョグスイッチを軽くスライドさせ、録音モードを選ぶ** ● 選択後、約5秒程度放置しておくと、自動的に設定され、停止状態になります。	スタンダードモード R-SP ロングモード L R-LP

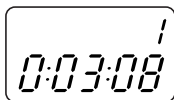
ご注意

各録音モードの最大録音時間とは別に、**本機で録音できる**最大ファイル数は256ファイルとなります。 録音可能時間が残っていても、257以上のファイルを録音することはできません。 257ファイル目を録音しようとすると"FULL"と表示されます。

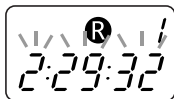
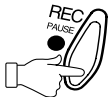
録音を開始する

REC/PAUSEボタンを押します。

“R”が表示され、録音が始まります（以降、録音モードはスタンダードモードで説明します）。
現在録音しているファイル番号と録音可能時間を表示します。

録音を停止するには

STOP/MENUボタンを押します。

録音していたファイル番号と録音した時間を表示します。

録音を一時停止するには

REC/PAUSEボタンを押します。

録音していたファイル番号が表示され、録音可能時間が点滅します。
再度**REC/PAUSE**ボタンを押すと、録音が再開します。

録音内容をモニタするには

ヘッドホン端子にヘッドホンを差し込みます。その状態で、13ページからの手順にしたがって録音をすると、録音している内容をヘッドホンから聞くことができます。

音量を調節するには

録音内容モニター時の音量を調節します。

VOL－ボタンまたは**VOL＋ボタン**を押します。

音量レベルが数値（VOL:0～VOL:20）で表示されます。

基本操作

ちょっとこれを!

内蔵マイクとステレオ外部マイクの切り替えは必ず停止中におこなってください。
録音レベルは自動設定されますので、手動設定はできません。

- **内蔵マイクで録音時 → モノラル録音**
- **外部マイクで録音時 → ステレオ録音**

録音時間

録音時間は内蔵マイクと外部マイクによって以下のように変化します。

◆ 内蔵マイク(モノラル録音)
スタンダードモード :約3時間　ロングモード :約5時間

◆ 外部マイク(ステレオ録音)
スタンダードモード :約2時間30分　ロングモード :約4時間

再生する

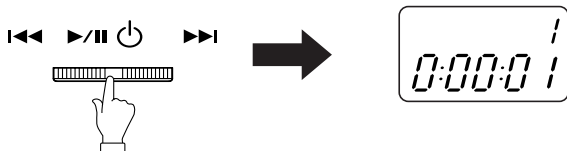
1 再生したいファイルを選択する

電源を入れ、ジョグスイッチを軽くスライドします。

ジョグスイッチを ▶▶I に動かす： 次のファイルのファイル番号と再生時間を表示

ジョグスイッチを I◀◀ に動かす： 前のファイルのファイル番号と再生時間を表示

2 再生を開始する

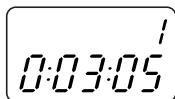
ジョグスイッチを軽く押します。

再生を開始します。

ファイル番号と再生経過時間を表示します。

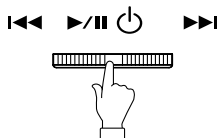
ご注意

- 容量の大きいファイルは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。ファイル数が極端に多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。
- MP3ファイルによっては、再生時間表示と実際の再生時間が異なることがあります。

再生を途中で停止するには

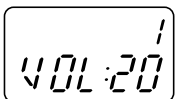
STOP/MENUボタンを押します。

再生していたファイル番号と再生時間を表示します。

再生を一時停止するには

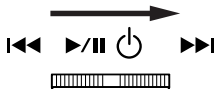
ジョグスイッチを軽く押します。

現在再生しているファイルの再生経過時間が点滅します。
再度**ジョグスイッチ**を押すと、再生を再開します。

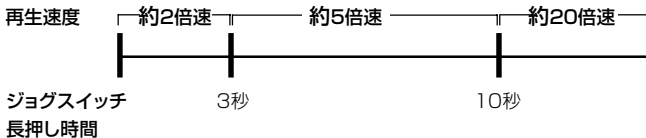
音量を調節するには

ファイル再生時の音量を調節します。

VOL－ボタンまたは**VOL＋ボタン**を押します。

音量レベルが数値（VOL:0～VOL:20）で表示されます。

再生を早送りするには

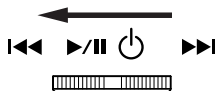
● **再生中に、ジョグスイッチを ▶▶| 方向にスライドして、長押しします。**

現在再生しているファイルを早送りします。
ファイルの最後まで早送りすると、次のファイルの先頭から早送り再生を続けます。
最終ファイルの早送り再生終了後、停止状態になります。
早送り再生中、ファイルの音声は出力されます(再生一時停止時に早送り再生をした場合は、音声は出力されません)。

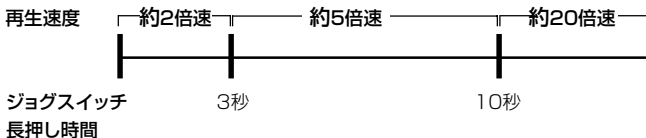
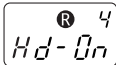
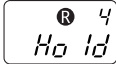
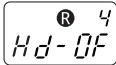
● **早送り再生は3段階(約2倍速、約5倍速、約20倍速)に速度が変わります。**

● **ジョグスイッチから手をはなします。**
早送り再生を解除します。

ファイル送りするには

再生、停止、再生一時停止中に、**ジョグスイッチ**を ▶▶| 方向にスライドします。連続でファイル送りをするには、停止中に**ジョグスイッチ**を ▶▶| 方向にスライドして、長押しします。

再生を早戻しするには

● **再生中に、ジョグスイッチを ⏮ 方向にスライドして、長押しします。**

現在再生しているファイルを早戻しします。
ファイルの先頭まで早戻しすると、そのひとつ前のファイルの最後から早戻し再生を続けます。
一番先頭のファイルの早戻し再生終了後、**ジョグスイッチ**から手をはなすと先頭のファイルの再生を始めます。
早戻し再生中、ファイルの音声は出力されます(再生一時停止時に早戻し再生をした場合は、音声は出力されません)。

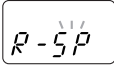
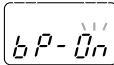
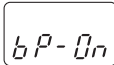
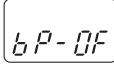
● **早戻し再生は3段階(約2倍速、約5倍速、約20倍速)に速度が変わります。**

● **ジョグスイッチから手をはなします。**
早戻し再生を解除します。

ファイル戻しするには

再生、停止、再生一時停止中に、**ジョグスイッチ**を ⏮ 方向にスライドします。連続でファイル戻しをするには、停止中に**ジョグスイッチ**を ⏮ 方向にスライドして、長押しします。

いろいろな操作をおこなう

誤動作を防止する(ホールド機能)

録音または再生中に誤ってボタンを押し、操作を中断してしまうことを防ぎます。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1	**録音または再生中にREC/PAUSEボタンを長押しする** ● “Hd-On”と表示され、ホールド機能がはたらきます。 ● ホールド機能中に、操作ボタンを押すと、“Hold”と表示されるだけで各ボタンは機能しません。	**録音中の例** Ⓡ 4 Hd-On ホールド機能中に操作ボタンを押したとき Ⓡ 4 Hold
2	**再度REC/PAUSEボタンを長押しする** ● “Hd-OF”と表示され、ホールド機能が解除されます。	Ⓡ 4 Hd-OF

※再生中にホールドした場合は、最終ファイルの再生終了時にホールド機能は自動的に解除されます。

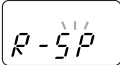
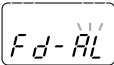
※録音中にホールドした場合は、メモリがFULLになり録音が終了した時点で、ホールド機能は自動的に解除されます。

※電池がなくなった場合は、電源が切れた時点でホールド機能は自動的に解除されます。

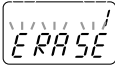
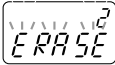
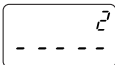
ビープ音の有無を選択する

ボタンを押したときのビープ音の有無を選択できます。初期設定ではビープ音はONになっています。

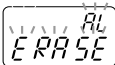
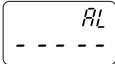
	操作とはたらき	液晶パネル表示
1	**停止状態で、STOP/MENUボタンを長押しする**	R-SP
2	**再度STOP/MENUボタンを押す** ● モード表示部分が点滅します。	bP-On
3	**ジョグスイッチを軽くスライドし、ビープ音“入/切”を選ぶ** ● 選択後、約5秒程度放置しておくと自動的に設定され、停止状態になります。	ビープ音入モード bP-On ビープ音切モード bP-OF

PLAYモードを選択する

本機で録音したファイルは**VOICE**フォルダに保存され、本機で再生をおこないたいMP3ファイルは**MUSIC**フォルダに保存します。
（38ページ「リムーバブルディスクの表示について」参照）。

PLAYモードには、**ALL**モードと**MUSIC**モードがあります。（初期設定は**ALL**モードになっています）
ALLモードでは**VOICE**フォルダおよび**MUSIC**フォルダ内の内容を再生します。
MUSICモードでは**MUSIC**フォルダ内の内容のみを再生します。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1	**停止状態で、STOP/MENUボタンを長押しする**	R-SP
2	**STOP/MENUボタンを2回押す** ● モード表示部分が点滅します。	Fd-AL
3	**ジョグスイッチを軽くスライドし、PLAYモードを選ぶ** ● 選択後、約5秒程度放置しておくと自動的に設定され、停止状態になります。	ALLモード Fd-AL MUSICモード Fd-MU

ご注意

- **MUSIC**モードのまま終了した場合でも、次に電源を入れたときに**MUSIC**フォルダ内に再生対象ファイルがないとき、自動的に**ALL**モードに切り替わるため、**MUSIC**モードは選択できません。
- **MUSIC**モードのときに本機を使用して録音すると、録音したファイルは**VOICE**フォルダに保存され、自動的に**ALL**モードに切り替わります。

ファイルを削除する

本機に録音されているファイルを削除します。

[指定ファイルを削除する場合]

操作とはたらき	液晶パネル表示
1 **停止状態で、ERASEボタンを押す** ● “ERASE”と点滅します。	1 ERASE
2 **ジョグスイッチを軽くスライドし、削除したいファイルを選ぶ**	2 ERASE
3 **再度ERASEボタンを長押しする** ● 選択したファイルが削除され、停止状態になります。	2 - - - - -

[すべてのファイルを削除する場合]

削除できるのは本機で再生可能なMP3ファイルのみです。他の形式のファイルは削除することはできません。また、MP3ファイルも再生可能なフォルダに入っていない場合、削除することはできません。

操作とはたらき	液晶パネル表示
1 **停止状態で、ERASEボタンを長押しする** ● “AL”と“ERASE”が点滅します。	AL ERASE
2 **再度ERASEボタンを長押しする** ● すべてのファイルが削除され、停止状態になります。	AL - - - - -

ファイル削除操作を解除するには、**STOP/MENU**ボタンを押します。

ご注意

MUSICモードに設定されている場合、削除できるファイルは**MUSIC**フォルダ内のファイルに限られます（**MUSIC**フォルダ内のファイルを全て削除するときは“AL”の部分が“Fd”と表示されます）。

内容をフォーマット(初期化)する

本機を使用していて不具合が出たとき、乾電池を入れ直す、あるいはフォーマットすることによって症状が直る場合があります。
フォーマットしても音量、録音モード、再生モード、ビープ音の設定は保存されます。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1	**電源が切れている状態で、ERASEボタンとジョグスイッチを同時に長押しする** ● "SOTEC"と表示された後、全ての表示が点滅します。	L R 188 8:88:88
2	**再度ERASEボタンを押す** ● フォーマットが実行され、"no dATA"と表示された後、停止状態になります。	0 0:00:00

※操作2で、**ERASE**ボタンを押さずに約5秒程度放置するか、**ジョグスイッチ**を長押しすると、フォーマット操作は解除され、電源が切れます。

ご注意

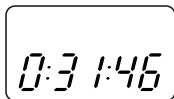
フォーマットすると、内蔵メモリに記録されたファイルはすべて消されます。消されたファイルは復元できません。

"**FAT**"と点滅表示された場合、録音内容が壊れています。一度電源を切って、フォーマットしてください。

FAT

録音可能時間を表示する

録音できる残り時間を表示します。

停止中に、STOP/MENUボタンを**1回**押します。

録音可能時間が表示されます。

パソコンに接続して使う

動作環境

本機をパソコンに接続して音楽データを取り込む場合、以下のようなパソコン環境が必要になります。

■ Windows搭載パソコン ■

NEC PC-98シリーズとその互換機・Macintoshでは動作保証いたしませんのでご注意ください。

対応機種	IBM PC/AT互換機
対応OS(日本語版)	Windows XP Home Edition Windows XP Professional Windows Millennium Edition(Me) Windows 2000 Professional Windows 98 Windows 98 Second Edition
USBポート	本製品接続時にひとつ必要
サウンドボード	Windows®互換の16-bitをサポート
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要

ご注意

- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  ーWindows 各OSからのアップグレード環境
  ーWindows 95、Windows NT
  ーWindows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンドなどのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
- Windows98/98SEは専用USBドライバが必要です。この専用USBドライバはインターネット上からダウンロードする必要があります。ダウンロード方法は次のページをご参照ください。

USBドライバのインストール（Windows98/98SEのみ）

ここではお手持ちのパソコンに、Windows98/98SE専用のUSBドライバをインストールする方法を説明します。

Windows XP/Me/2000をご使用の場合は、この作業は必要ありません。

※本機を接続したときに「ファイル名が見つかりません。」と表示された場合、WindowsシステムのCD-ROMを挿入して、必要なファイルをインストールしてください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

2 Internet Explorerよりホームページにアクセスする

1. Internet Explorerを起動させて アドレスのボックスに“**http://www.sotec.co.jp**”を入力します。
2. ページが表示されたら**サポート**をクリックします(ページデザインは2002年現在のもので予告なく変更する場合があります)。

3. **ダウンロード/技術資料**の**その他の製品を選択してください**の中から**SMS-10**を選択してください。

3 ドライバをパソコンにダウンロードする

1. SMS-10の製品情報から**ダウンロード**の**1.ドライバ類**の**各種ドライバ**をクリックします。
2. **Windows 98/98SE 専用USBドライバ**の**ダウンロード**をクリックします。
3. **シリアルナンバー**の入力を要求する画面が表示されます。本機の電池ケース内、側面に貼り付けられているシリアルナンバーを、**左から8桁まで**入力した後、**[OK]**をクリックします。
4. **[保存]**をクリックし、任意の保存場所を指定した後、**[ダウンロード]**をクリックします。

これでドライバをパソコンにインストールするソフトが保存されました。圧縮されていますので、保存したファイルをダブルクリックしてください。自動的に解凍処理されます。

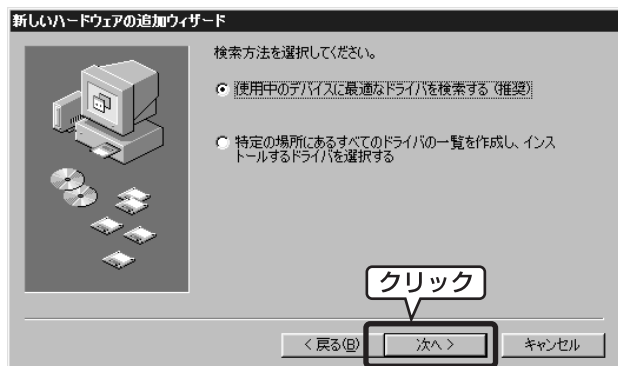
4 本機をパソコンに接続する

接続方法は、34ページ:手順1 **[本機をパソコンに接続する]**をご覧ください。

応用操作

5 ドライバをパソコンにインストールする

1. **[新しいハードウェアの追加ウィザード]**が開くので、**[次へ]**をクリックしてください。

2. 検索方法の**[使用中のデバイスに適切なドライバを検索する]**を選んでチェックします。**[次へ]**をクリックしてください。

3. **[検索場所の指定]**にチェックし、**[参照]**をクリックして手順3でドライバを保存した場所を指定します。ドライバの置いてある場所の指定ができたら、**[次へ]**をクリックしてください。

4. ドライバの検索が終わり、インストールの準備ができました。**[次へ]**をクリックしてください。

5. USB Deviceがインストールされました。**[完了]**をクリックしてください。

6. 引き続き、USB Mass Storage Deviceのインストールが始まります。自動的に**[新しいハードウェアの追加ウィザード]**の画面に進みますので、本機をパソコンから抜かないでください。
   [新しいハードウェアの追加ウィザード]の画面が表示されたら、1～5と同じ手順でインストールをおこなってください。

これでUSBドライバがインストールされました。

USBドライバが正しくインストールされているか、以下の方法で確かめることができます。

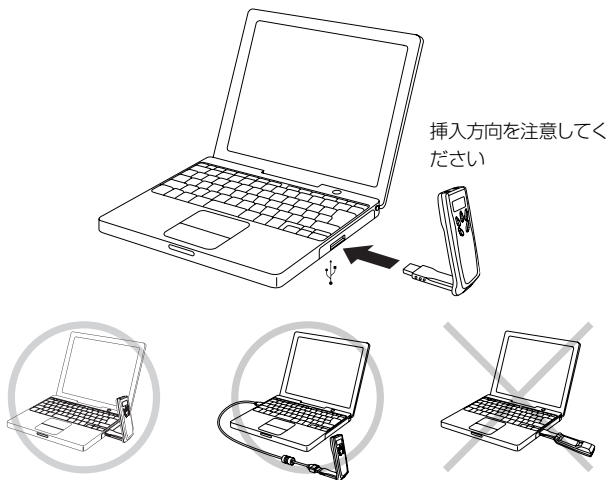
ドライバが正しくインストールされているか確かめるには

1. **[スタート]**メニュー－**[設定]**－**[コントロールパネル]**－**[システム]**－**[システムのプロパティ]**タブ内の**[デバイスマネージャ]**を開きます。
   [ハードディスクコントローラ]をダブルクリックして**[USB Mass Storage Device]**と、**[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]**をダブルクリックして**[SOTEC SMS-10]**が表示されていれば正しくインストールされています。

パソコンに保存されたファイルを本機に転送する

パソコンに保存されたファイル(MP3形式)を本機で再生することができます。

1 本機をパソコンに接続する

本機のUSB端子を直接パソコンのUSB端子につなぐことができます。USB保護カバーを外して、挿入方向に気をつけて接続してください。また、無理な姿勢で挿入すると、本機に負担がかかり、故障する場合があります。その場合は、USB接続ケーブル(市販品)を使用してください。

ご注意

- MP3形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
- お客さまが転送したMP3形式ファイルは、個人として楽しむほかは著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。

ちょっとこれを!

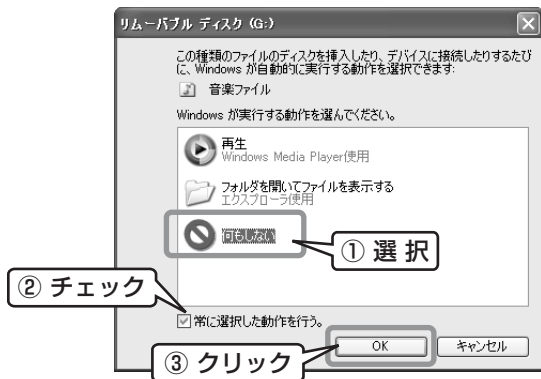
本書で説明に使用するWindows XPの画面は**エクスプローラ**を使用したものです。**エクスプローラ**を起動しない場合でも、画面の表示方法が異なるだけで、同じ動作を問題なくおこなえます。
本書と同じエクスプローラ画面でご使用になる場合は、以下の方法でWindows XPの**エクスプローラ**を起動させてください。

※OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合がありますが、問題はありません。

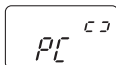
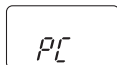
[スタート]の中の**[マイ コンピュータ]**を右クリックしてメニューを呼び出し、**[エクスプローラ]**を選択します。

これで、**エクスプローラ**が起動します。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

接続後、下記画面が表示されます(Windows XPのみ)。
Windows98/98SE/Me/2000に関しては、この操作はありませんので、手順3へ進んでください。
(以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります)

お客さまの使用環境に合わせて設定してください。
本書の例では[何もしない] を選択後、**[常に選択した動作を行う。]** にチェックし、**[OK]**をクリックしています。
これで、パソコンとの接続は完了です。

パソコンに接続している間、本機は以下の表示になり、どの操作ボタンを押しても反応しません。
本機をパソコンから取り外すときは、**42ページの「本機をパソコンから取り外す」****の作業を必ずおこなってください。**通信表示中は本機をパソコンから抜かないでください。

[パソコンとの通信時の本機表示]

[パソコン接続時の本機表示]

3 ファイルを本機にコピーする

コピーしたいMP3ファイルを選択し、**リムーバブルディスク**の**MUSIC**フォルダ内にドラッグ&ドロップします。

これで、本機への転送は完了です。

ご注意

ファイルは必ず**リムーバブルディスク**内の**MUSIC**フォルダ内に入れてください。**VOICE**フォルダに入れても再生できません。

リムーバブルディスクの表示について

本機をパソコンに接続すると、Windowsの**マイコンピュータ**内に**リムーバブルディスク**として表示されます。

リムーバブルディスク内は、**VOICE**フォルダと**MUSIC**フォルダに別れます。（関連ページ→23ページ「PLAYモードを選択する」）

[VOICEフォルダ]

本機にて録音したファイルを保存するフォルダ。

- 本機にて録音したファイルは、**"ICR_XXX（ファイル番号）.MP3"**という名に変換され、自動的に**VOICE**フォルダに保存されます（MP3形式のファイルです）。
- ファイル名を変更するとそのファイルは本機で再生できなくなりますのでご注意ください。
- **VOICE**フォルダ内のファイルは、ファイル番号順に再生されます。
- **VOICE**フォルダは、256ファイルまでしか保存できません。
- **VOICE**フォルダ内のファイルは、Windows Media Player等のソフトウェアを使用してパソコン上で聞くことができます。

[MUSICフォルダ]

パソコンから転送するファイルを保存するフォルダ。

- 転送するファイル名はどのようなものでも構いませんが、MP3形式のファイルに限ります。
- **MUSIC**フォルダのファイルは、パソコンから転送された順に再生されます。ファイルを削除したり、追加した場合に関しては再生順が変わる場合があります。
- 容量範囲内であれば、**MUSIC**フォルダ内に保存できるファイル数に制限はありません。

本機に録音されたファイルを削除する

- パソコン画面上で、本機に録音されたファイルを削除します。
  パソコン画面上では、ファイル名(曲名)等が表示されるため、削除したいファイルを正確に指定することができます。
- 本機を使用して、ファイルを削除するには、24ページ「ファイルを削除する」をご覧ください。

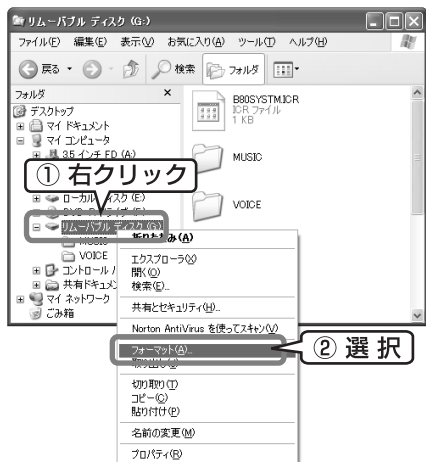
削除したいファイルを選択後、マウスの右クリックでメニューを出し、**[削除]**を選択します。

これで、選択したファイルは削除されます。

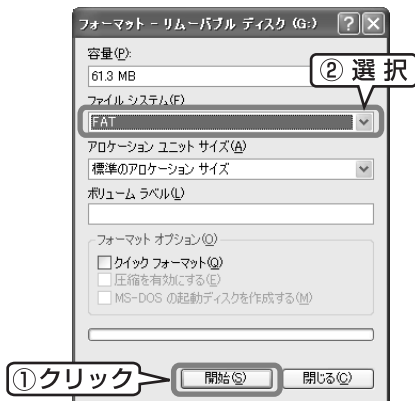
応用操作

パソコンで本機をフォーマット(初期化)する

- パソコン画面上で、本機の内容をフォーマット(初期化)します。
- 本機を使用して、フォーマットするには、25ページ「内容をフォーマット(初期化)する」をご覧ください。

Windowsの**マイコンピュータ**内の**リムーバブルディスク**(本機)を選択後、マウスの右クリックでメニューを出し、**[フォーマット]**を選択します。

ご注意

- パソコンの設定で隠しファイルが見えるように設定している場合、USB接続をすると「SETSYSTM.ICR」というファイルを見ることができますが、このファイルを削除すると、各設定値は電源を再び入れた時に**設定値**が初期化されます。設定値とは、音量、録音モード、再生モード、ビープ音の設定のことです。

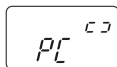
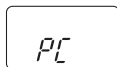
ファイルシステムから**[FAT]**を選択し、**[開始]**をクリックします。

※ 音量、録音モード、再生モード、ビープ音等の設定はフォーマット後、初期化されます。

※ ファイルシステムは[FAT]を選択してください。それ以外の場合、本機が正常に動作しません。

本機をパソコンから取り外す

●Windows98/98SEをご使用の場合、この操作は不要となります。

通信していない事を確認してから、本機をそのままパソコンから取り外してください。

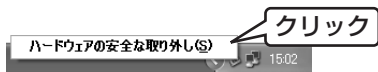
[パソコンとの通信時の本機表示]

[パソコン接続時の本機表示]

●Windows XP/Me/2000をご使用の場合、下記の手順で取り外してください。

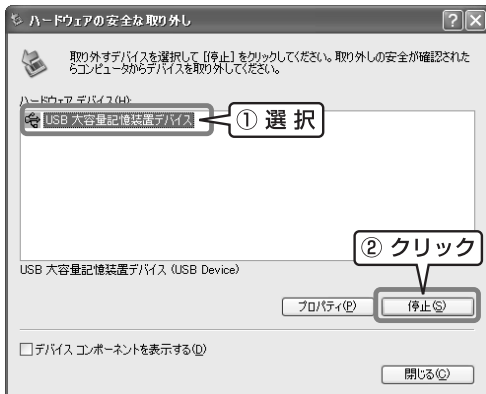
OSによって若干画面表示が異なりますが、ご了承ください。
(以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります)

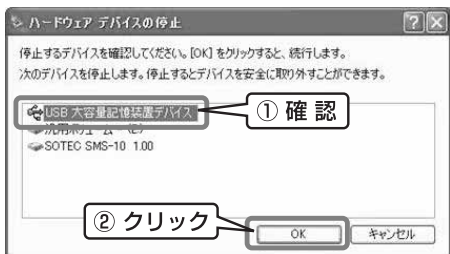
1 [タスクトレイ]のアイコンをクリックする

Windows画面右下の**[タスクトレイ]**のアイコンをクリックします。

※アイコンが表示されない場合は、Windowsのヘルプを参照してください。

2 表示された「ハードウェアの…」をクリックする

3 デバイスを選択し、[停止]をクリックする

[USB大容量記憶装置デバイス]を選択し、**[停止]**をクリックします。

4 停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックする

[SOTEC SMS-10]が一覧内に表示されていることを確認し、**[USB大容量記憶装置デバイス]**を選択して、**[OK]**をクリックします。

本機をパソコンから取り外してください。

応用操作

故障かな？と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　　因	乾電池が正しく入っていないか、乾電池切れである
解決方法	乾電池が正しく入っていることを確認してください。 一度乾電池を完全に抜いてから、乾電池を入れ直してください。または新しいアルカリ乾電池に替えてください。 10ページ「乾電池の入れ方」参照

原　　因	内蔵メモリが異常である
解決方法	内蔵メモリをフォーマット（初期化）してから、再度録音しなおしてください。 25ページ「内容をフォーマットする」参照 40ページ「パソコンで本機をフォーマットする」参照

ボタンを押しても反応しない

原　　因	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている
解決方法	誤動作防止機能（ホールド機能）を解除してください。 21ページ「誤動作を防止する（ホールド機能）」参照

原　　因	USB接続したままである
解決方法	本機のUSBコネクタを外してください。

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 18ページ「音量を調節するには」参照

VOICEフォルダ内のファイルが再生できない

原　　因	PLAYモードがMUSICモードになっている
解決方法	ALLモードに替えてください。 23ページ「PLAYモードを選択する」参照

原　　因	ファイル名が異なる
解決方法	パソコン上でファイル名を変更すると、再生できません。ファイル名を"ICR_XXX(ファイル番号).MP3"に戻してください。 38ページ「リムーバブルディスクの表示について」参照

MUSICフォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　　因	再生できるファイル形式ではない
解決方法	MP3形式のファイルをご使用ください。

原　　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、VOICEフォルダに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内のMUSICフォルダ内に転送してください。 38ページ「リムーバブルディスクの表示について」参照

原　　因	再生の基準に満たない
解決方法	液晶パネルに"-:- -:- -"と表示されるファイルは、本機では再生不可なMP3ファイルか、容量が1KB以下のMP3ファイルで、本機では再生できません。

原　　因	本機で再生できないデータとなっている
解決方法	エンコーダー（MP3変換)ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

パソコン接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	パソコンのUSBポートに最後まで正しく差し込まれているか、またUSBケーブル使用時は本機側のUSBコネクタが正しく最後まで差し込まれているかどうか確認してください。 34ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSBポートと本機を接続してください。または、パソコン本体に複数USBポートがある場合は、他のポートに接続してください。 34ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	USBドライバが正しくインストールされていない
解決方法	USBドライバが正しくインストールされているか確認してください(パソコンのOSがWindows98/98SEのみ)。 [確認方法] 1. **[マイコンピュータ]**を右クリックし、**[プロパティ]**を選択。 2. **[デバイスマネージャー]**タブを開く。 3. **[ユニバーサルシリアルバスコントローラー]**内の**[SOTEC SMS-10]**をダブルクリックする。 4. **「このデバイスは正常に動作しています」**と表示されていれば、インストールは正しくおこなわれています。 ※この表示が出ない場合は、再度インストールしなおしてください。 28ページ「USBドライバのインストール(Windows98/98SEのみ)」参照

原　　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター(ドライブ名を表すアルファベット)がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

"FAT"と表示されて動作できない

原　　因	FAT管理システムのエラー
解決方法	フォーマット(初期化)してください。 25ページ「内容をフォーマットする」参照 40ページ「パソコンで本機をフォーマットする」参照

お手入れについて

お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

● ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

内蔵メモリ	：64MB
対応OS	：Windows XP/Me/2000/98/98SE
録音時間	：約5時間（内蔵マイク ロングモード時） 約3時間（内蔵マイク スタンダードモード時）
録再周波数特性	：200～3,000Hz（内蔵マイク ロングモード時） 200～9,000Hz（内蔵マイク スタンダードモード時）
録再フォーマット	：MP3形式
再生周波数	：20Hz～20kHz
サンプリング周波数	：16～44.1kHz
再生対応ビットレート	：16～192kbps
S/N比	：82dB
出力端子	：USB ステレオヘッドホン3.5φミニ ステレオ外部マイク（市販品）
動作温度	：＋5℃～＋35℃
定格出力	：10mW＋10mW(16Ω負荷時、JEITA/DC)
電源	：単4形アルカリ乾電池×2本
電池持続時間	：アルカリ乾電池　6時間30分（連続録音時間） アルカリ乾電池　10時間30分（連続再生時間） ※連続録音再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
最大外形寸法	：幅34×高さ117×奥行き24mm （折りたたみ時）
質量	：約74g（電池含む）
付属品	：単4形アルカリ乾電池　(2) ヘッドホン　(1) 取扱説明書(保証書付)　(1)

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

※包装箱の品番の末尾のアルファベット文字は色表示の記号です。色は異なっても操作方法と仕様は同じです。

保証規定

[1] 取扱説明書・本体貼付ラベルなどに従った使用状況で故障した場合は保証書の記載内容に基づき、無償にて故障個所の修理をさせて頂きます。
無償修理をご利用になる場合には修理サポートに保証書をご提示の上、お申し付けください。

[2] 製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものと致します。

[3] 次のような場合には保証期間中でも有償修理となります。

1) 保証書のご提示がない場合
2) 保証書にお買い上げ年月日、保証期間、型名または品名、および製造番号または保証番号、販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合
3) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃、圧力など、お客様の取扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合
4) お客様による使用上の誤り、分解あるいは不当な改造、修理による故障および損傷
5) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧、冠水の外部要因に起因する故障および損傷
6) 製品に接続している当社指定以外の機器、および消耗品に起因する故障および損傷
7) 消耗品の交換

[4] 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

[5] 保証書は再発行致しません。大切に保管してください。

[6] 保証期間内にご連絡いただけない場合は、有償対応とさせていただきます。

[7] 記憶装置(ハードディスク、フロッピーディスク、RAMなど)に記録されたデータは、故障や障害の原因にかかわらず、保証いたしかねます。ご了承ください。

※この保証規定の内容は、製品保証書(本書巻末)に明示された期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。なお、保証規定の内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等につきましてはSOTEC修理サポート窓口(53ページ)にお問い合わせください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

ラ行

その他

サポートサービスについて

SOTECテクニカルサポートセンタでは、製品に関する技術的な質問や修理の受付などについて承っております。

お客様のトラブルを早急に解決するために、電話をおかけになる前には、本製品をお手元に置き、次のことをご確認ください。

①お客様のカスタマーID番号(14桁)
②お客様のお名前(法人の方は会社名、ご担当者)
③ご連絡先(電話番号、郵便番号、ご住所)
④本製品をご購入された販売店名、代理店名、ご購入日
⑤本製品の名称、シリアル番号または製造番号
⑥梱包箱の有無
⑦障害発生日
⑧障害発生内容
　(トラブルが起きたときの状態と状況、また表示されている
　メッセージの内容)
⑨再現手順(障害発生したきっかけの詳細)

技術的なお悩みやお困りのときは テクニカルサポート

TEL 0570-001134(ナビダイヤル)

携帯/PHSからのお問い合わせ番号
TEL 045-650-6040

営業時間:年中無休　9:00～18:00(月～金)
9:00～17:00(土･日･祝日)

もしも故障のときは 修理サポート

TEL 045-650-6091

営業時間:年中無休　9:00～18:00(月～金)
9:00～17:00(土･日･祝日)

※記載しておりますお問い合わせ番号や営業時間は、本書制作時点のものであり、変更する場合がございます。

製品保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書50ページ記載内容で無料修理をおこなうことを約束するものです。詳細は50ページをご参照ください。

品　番	SMS-10
保証期間	お買い上げ日から 本体12ヵ月
※お買い上げ日	年　　月　　日
※お客さま	ご住所
	お名前　　　　　　　　　　様
	電　話　　(　　　)　　—
※販売店	
	電　話　　(　　　)　　—

ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

株式会社ソーテック

EN3153A